

研修・指導体制

センター長（JA職員）・技術指導員（JA嘱託職員）の常駐と生産者営農アドバイザー3名（なす2名・ミニトマト1名）のスタッフが研修生の研修・指導に当たります。栽培指導においては、各研修品目を栽培している生産者による指導を中心に実施します。また、農業経営に必要な基本的な知識習得のための座学においては、JA鹿本農業経営事業運営協議会会員（県・市町村・JAグループ）並びに関係機関の専門担当者が実施します。

さらに研修後、管内において農業経営を進めるうえで必要な栽培技術指導、営農経営相談等については、JA鹿本並びに関係機関が全面的に支援いたします。



研修カリキュラム

【座学】

区分	科目	内容
野菜関係講義	野菜総論	野菜総論
	野菜各論(なす)	なすの生理・生態
	野菜各論(ミニトマト)	ミニトマトの生理・生態
	土づくり	土壌診断、土壌消毒、堆肥等
	農薬と病害虫対策	農薬の基本知識、病害虫の予防と対策
	園芸施設論	施設園芸の発展と現在
経営関係講義	農業経営計画	自立経営に向けた経営計画の立て方、改善計画
	農業簿記（税務含む）	農業簿記と税務申告
	マーケティング	基本的な野菜の流通市場のニーズ等
	農業協同組合論	農協の基本理念について
	コミュニケーション	近隣農家・部会員・関係機関等との係わり方
	JA鹿本	JA鹿本の歴史と今後の展開（農業振興計画等）
実習・演習	危険物・毒劇物取扱講義	農業に関する資格（危険物乙類・毒劇物一般）
	農業機械講義	農作業に関する特殊機械の取り扱いについて
	農機具操作・整備技術	メーカーによる操作・整備・修理方法の技術取得
	育苗施設・選果場実習	仕入先育苗施設、青果物選果施設における実習
	流通市場研修	出荷先市場・流通現場視察研修
	農産加工演習	6次産業化付加価値商品の取り組み等
	施設整備	ハウス被覆資材展張等技術指導

【圃場実習】

施設(作型)	施設規模構造	棟数面積(m ²)	品目	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
A棟(連棟加温)	低コスト耐候性ハウス 6m×64m×3連	3連棟 1,152m ²	ミニトマト	土づくり 土壌診断 消毒 堆肥投入	定植準備	○			□→→→	→→→	→→→	→→→	→→→	→→→	→→→□	
B棟(連棟加温)	低コスト耐候性ハウス 6m×64m×3連	3連棟 1,152m ²	促成なす			○		□→→→	→→→	→→→	→→→	→→→	→→→	→→→	→→→	→→→□
C棟(連棟加温)	低コスト耐候性ハウス 6m×64m×3連	3連棟 1,152m ²	促成なす			○		□→→→	□→→→	→→→	→→→	→→→	→→→	→→→	→→→	→→→□
D・E棟(単棟)	パイプハウス 6m×64m×2棟	単棟2棟 640m ²	春夏大玉西瓜 抑制西瓜	×	○→	☆→	□→→		×	△	○	→☆	T→	□→		

(凡例) 播種・挿芽…× 接木…△ 定植…○ 交配…☆ 着果棒…T 収穫…□

※基本的に苗については購入苗とする

※研修期間:7月1日～6月30日(原則1か年)